別　紙

耐震安全性評価報告書の再点検結果の概要

１．再点検対象

平成２３年８月２２日付け、原子力安全・保安院からの指示「耐震安全性評価報告書の再点検について（指示）」（平成２３・０８・２２原院第１号）を受けて、当社が提出している玄海１，２，３号機及び川内１，２号機の耐震安全性評価報告書の各評価項目に係る解析で入力したデータ及び条件設定（入力根拠）について再点検を実施した。

なお、入力データに誤りがあった玄海３号機については、正しいデータを用いた解析の入力データ及び条件設定について確認を行った。

再点検対象となる評価項目
１．基準地震動 Ss の策定
２．原子炉建屋基礎地盤の安定性評価
３．安全上重要な建物・構築物の耐震安全性評価※
４．安全上重要な機器・配管系の耐震安全性評価
５．屋外重要土木構造物の耐震安全性評価
６．地震随伴事象に対する考慮（周辺斜面の安定性）
７．地震随伴事象に対する考慮（津波に対する安全性）

※　玄海３号機の建屋の地震応答解析の入力データに一部誤りがあったことを、平成２３年７月２２日に国へ報告済み。また、玄海１，２号機及び川内１，２号機には入力誤りがないことを７月２９日に国へ報告済み。

（参　考）耐震安全性評価報告書の報告時期

・「川内原子力発電所の耐震安全性評価結果について」
（平成２０年１２月２２日　報告）

・「玄海原子力発電所３号機及び４号機の耐震安全性評価結果について」
（平成２１年　６月１８日　報告）

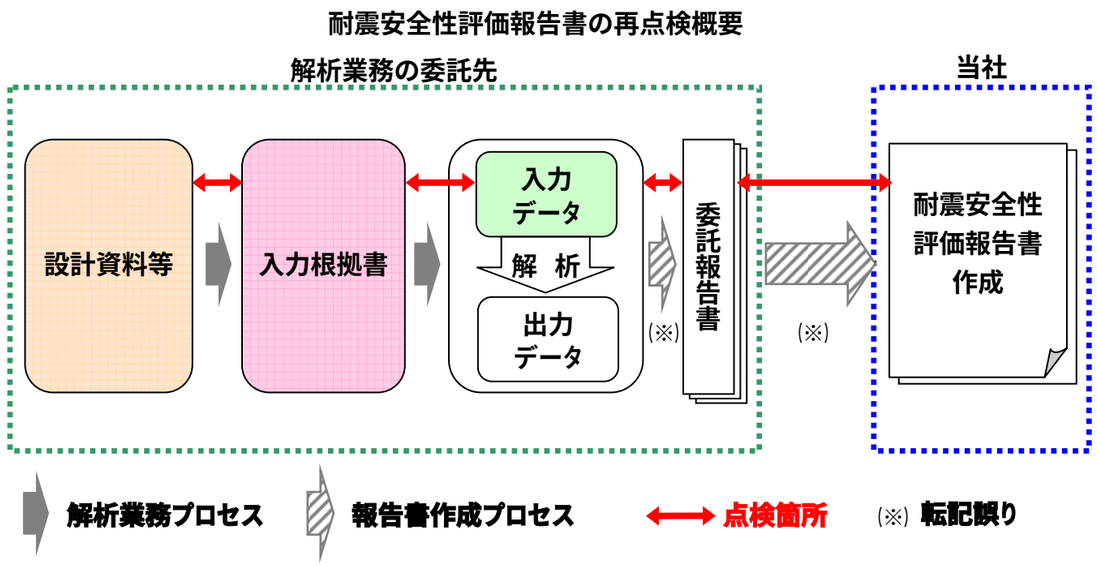
・「玄海原子力発電所１号機及び２号機の耐震安全性評価結果について」
（平成２２年　３月２６日　報告）

２．再点検方法

再点検対象となる評価・検討項目に係る解析のために入力したデータ及び条件設定について以下の確認を実施し、誤りの有無を調査した。

① 解析ごとに作成した入力根拠書の内容の妥当性を解析業務の委託先が評価していることを当社が確認した。

② 計算機プログラムへの入力を正確に実施したかどうか、入力根拠書と計算機の入力データのプリントアウトが整合していることを当社が確認した。



３．再点検結果

耐震安全性評価報告書の再点検を実施した結果、耐震安全性評価結果に影響を及ぼさない、報告書への転記誤り（玄海１５箇所、川内１１箇所）はあったが、耐震安全性評価に係る解析のために入力したデータ及び条件設定に誤りがないことを確認した。